

# 避難促進のための防災Go!の開発

研究動画



■ 社会環境学部 社会環境学科 准教授 上杉 昌也 ■ 総合研究機構 環境科学研究所 研究員 森山 聡之

○ 研究分野：防災工学

○ キーワード：防災、流域、GIS、ゲーミング

## I 研究概要

### 1. 研究背景

近年日本各地で豪雨や、それに伴う洪水に対する逃げ遅れが発生している。これは、根本的には地域住民が常日頃から流域に意識を向けていないことが問題である。そこで本研究では、スマホ向け防災ゲーム「防災Go<sup>®</sup>」を開発し、住民が流域を平常時に巡回するように誘導することにより、住民の水意識の向上、最終的には避難モチベーションの向上を目指す。

### 2 防災Go<sup>®</sup>

平常時から地域の河川に親んでもらうために、地域の空間情報を提供し、現地に行くとポイント等を獲得できるゲーム形式のスマホアプリを開発する(図1)。ベースマップとして各地域のハザードマップ情報を用いて、実際に危険スポットや避難所を訪れることで、途中の経路の危険性や災害以外の危険性に気付かきかけを提供する(図2)。

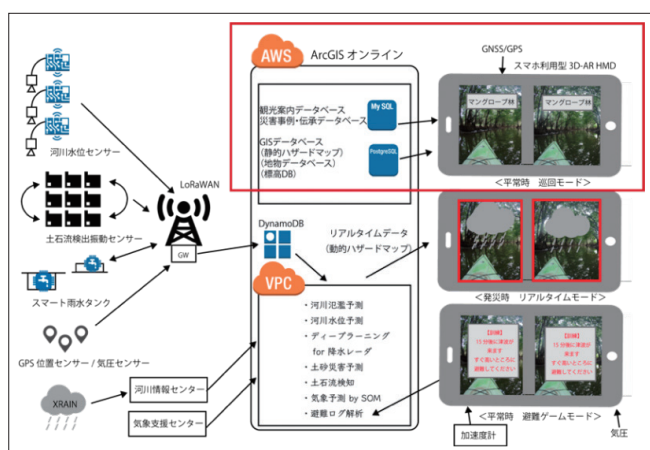


図1: アプリの概要



図2: モバイル端末での表示

〔研究助成〕 国土交通省 河川砂防技術研究開発公募 河川技術部門河川技術・流域管理分野  
「避難促進と流域治水のための防災Go!の開発」

### I 利点特徴

日頃から使うアプリとして、河川に親しむことで住民の水意識への回帰、防災意識の向上などが期待される。避難のモチベーション向上のためにも、地域を知ることによる人との繋がりが增大することが、地域活性化にも繋がると考えられる。

### I 応用分野

本アプリは、ゲームのみならず河川管理にも活用可能であり、住民と河川管理者の有機的な連携、例えば住民が堤防の状況がおかしいなどの(写真や動画も含む)状況をスムーズに共有可能な機能も同時に実装する。

特許 ・ 商標登録 第 6241393 号 「防災 Go」

